



TITLE:

彙報

AUTHOR(S):

CITATION:

彙報. 東南アジア研究 1968, 5(4): 876-878

ISSUE DATE:

1968-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/55461>

RIGHT:

彙 報

目 次

- 1 東南アジア研究センター管理委員名簿変更
- 2 東南アジア研究センター管理委員会開催日および議題
- 3 東南アジア研究センター運営委員会開催日および議題
- 4 東南アジア研究センター編集委員名簿追加
- 5 東南アジア研究センター昭和42年度現地調査計画追加
- 6 東南アジア研究センター研究例会記事
- 7 国外からの訪問者
- 8 関係者往来

1 東南アジア研究センター管理委員名簿変更

委員 経済学部長 山岡亮一（出口勇蔵前経済学部長は1月8日で任期満了）

委員 文学部長 井島 勉（大山定一前文学部長は1月15日で任期満了）

2 東南アジア研究センター管理委員会開催日および議題

昭和43年1月8, 10, 12, 16, 23, 27日および2月2, 4, 6, 20日

フォード財団からの研究奨学金の受入れについて

昭和43年3月5日 1 任期満了に伴う次期所長の選考について

2 昭和42年度東南アジア研究センター追加予算について

3 東南アジア研究センター運営委員会開催日および議題

昭和43年1月4日 議題なし

昭和43年1月20日 議題なし

昭和43年2月19日 議題なし

昭和43年2月29日 1 インドネシア調査の件

2 人事に関する件

3 バンコク連絡事務所の件

4 管理委員会規程の改正について

昭和43年3月4日 次期所長候補の選考について

昭和43年3月19日 フォード寄付金の予算および計画について

昭和43年3月28日 東南アジア研究センター研究担当候補者について

4 東南アジア研究センター編集委員名簿追加

東南アジア研究センター助教授 高谷好一

5 東南アジア研究センター昭和42年度現地調査計画追加

インドネシア計画

調査者氏名および所属：本岡 武（東南ア研教授）
 題目：東南アジア農業開発研究
 日程：昭和43年3月31日～7月10日
 地区：フィリピン，インドネシア，マレーシア，タイ

6 東南アジア研究センター研究例会記事

第136回 昭和43年2月8日

座 長：芦田譲治（理学部教授）

講演者：平野 実（教養部教授）

「タイ・マレーシア生物相の調査—藻類—」

北川尚史（奈良教育大学助教授）

「同上一苔類—」

第137回 昭和43年2月22日

座 長：岩村 忍（東南アジア研究センター所長）

講演者：石井米雄（東南アジア研究センター教授）

「欧米におけるタイ研究—とくにタイ近代史—」

第138回 昭和43年3月7日

座 長：本岡 武（東南アジア研究センター教授）

講演者：野口英雄（京大大学院工学研究科）

「インドネシア留学から帰って」

第139回 昭和43年3月21日

座 長：長谷川浩（農学部教授）

講演者：大高俊昭（海外貨物検査株式会社）

「東南アジアより輸入される一次産品の諸問題」

7 国外からの訪問者

年 月 日	氏 名
昭和43年1月9日	Mr. Richard L. Stone, Dept. of Anthropology, University of Hawaii, Honolulu, Hawaii, U.S.A.
昭和43年1月26日	Dr. William Henry Young, Chairman of Center for Development, Assistant to the President, University of Wisconsin, Madison, Wisconsin, U.S.A. Dr. James W. Davis, Assistant Professor of Public Administration, Center for Development, University of Wisconsin
昭和43年2月8日	Mr. François van Hoek, OECD Development Centre, Paris, France
昭和43年2月20日	Mr. James R. Soukup, Associate Professor, Political Science, University of Texas, Austin, Texas, U.S.A.
昭和43年2月23日	Dr. Leo E. Rose, Institute of International Studies, University of California, Berkeley, California, U.S.A. (Associate Editor, Asian Survey)

年 月 日	氏 名
昭和43年3月7日	Mr. Paul R. Deuster, Fellow, Midwest Universities Consortium; Department of Economics, University of Wisconsin, Madison, Wisconsin, U.S.A.
昭和43年3月11日	Prof. Solomon B. Levine, Labor and Industrial Relations, Director, Center for Asian Studies, University of Illinois, Urbana, Illinois, U.S.A.
昭和43年3月18日	M. L. Boonlua Kunjara Debayasuvarn, Ministry of Education, Bangkok, Thailand Dr. Nihar Ranjan Ray, Director & Professor, Indian Institute of Advanced Study, Simla, India

8 関係者往来

氏 名	出 発	帰 国	行 先
川 口 桂 三 郎 (京大・農・教授)	43. 1. 7	43. 2. 7	タイ, インド, 香港
久 馬 一 剛 (京大・東南ア研・助教授)	43. 1. 7	43. 3. 30	タイ, インド, セイロン
高 谷 好 一 (京大・東南ア研・助教授)	43. 1. 7		タイ, インド, セイロン
野 口 英 雄 (京大・大学院・工)		43. 1. 11	インドネシア
石 井 米 雄 (京大・東南ア研・教授)		43. 1. 18	アメリカ合衆国, 西ドイツ, オランダ, イギリス, オーストリア, フランス
本 岡 武 (京大・東南ア研・教授)	43. 1. 25	43. 2. 1	アメリカ合衆国
岩 村 忍 (京大・東南ア研・所長)	43. 2. 2	43. 2. 14	オーストラリア, ニュージーランド
本 岡 武 (京大・東南ア研・教授)	43. 3. 31		フィリピン, インドネシア, マレーシア, タイ

あ と が き

本特集号は京都大学東南アジア研究センターが主催した農学関係の第3回目のシンポジウムの成果を編集したものである。

本号の内容は実質的には二つの部門よりなっている。一つは京都大学関係者が昭和38年に始まった当センターの第1期5カ年計画のなかで行なった研究, 調査のまとめと学外の方々のコメントである。ご覧のごとくわれわれの研究は未だ対象領域は狭く, 研究の深度も浅い。関心ある方々の今後のいっそうの御鞭撻と御協力をお願いしたい。他の一つは農業技術協力に関するものであって, 指導, 研究, 調査, 教育の面に対する, 学外の権威ある方々の貴重な意見を広く包含している。これは東南アジアの農業技術問題に関するわが国の現時点での考え方を代表するものとしてきわめて貴重であろう。

本号の編集にあたり, はしがきにも述べたとおり, すべて論文の形式をとった。そのためコメントの方々に御発言について改めて御執筆の労をわずらわし, 誠に恐縮にたえない。

最後に本シンポジウムの開催を発議し, 運営に種々便宜を与えられた岩村忍所長, 小林章前農学部長, 本岡武教授, 石井米雄教授をはじめセンター事務局に厚く御礼を申し上げる。

(川口桂三郎)